







# アメリカ・オレゴン研修旅行に参加して バイタリテイあふれる姿、 イキイキとした表情が印象的



盛田 会長

平成4年7月18日(土)25日(土)までの8日間、大学の姉妹校であるオレゴン大学・オレゴン州立大学を訪れる機会を得た。この研修旅行は、前田副学長の肝煎りで実現したものである。

研修旅行の参加者は、私の他、後援会の土井副会長、宇佐美顧問、後援会のOJ組織である同親会の天花寺会長、竹内副会長、鳥民氏が参加。他に事務局から大竹事務部長長が加わり、総勢7名にて名古屋空港を出発した。

前田副学長は、我々の出発時にはオレゴン入りをしていたので、ポートランド空港で私達を出迎えていただいた。名古屋からの一行の中には、英語が堪能な人がいなかった。そこで副学長の顔をみてホッとした。アメリカ人の活の長い副学長がアメリカの歴史、文化等々、その時々で説明していただいた。

また、オレゴン大学、オレゴン州立大学を表彰訪問した際にも、通訳をはじめキャンパスの説明などとしていた。

想像以上の収穫があったと思っている。

私達の訪米中、丁度学生たちは、第15回アメリカ・ヨーロッパ短期留学にオレゴン大学の父母を代表して、大生28名が全員嬉々とした顔でアメリカをエンジョイしている光景を目の当たりにして大変意義ある行事であると感銘した。

この短期留学は、研修を通して国際的な教養を高め、国際人としての見識を広め、また、研修先の各大学の友好を深めることのできる制度であるので、子弟におかれては、この制度をぜひ利用されて、より一層国際的センスを深めて頂ければ幸いです。

学生達はアメリカの先生達と

後援会会長 盛田 國四郎

## 自然と人々との ふれあいの旅 ワンダーフォーゲル部



他大学の交流も盛んに行われ、県内の大学、短大等のワンダーフォーゲル部の合同ワンダーフォーゲル大会が行われ、この中には女子大も含まれており、他大学の女子とも知り合いになります。

合同ワンダーフォーゲル大会にも連盟内の集まりやコンバネンもかなりあり、交流では他の部をかなりリードしています。ただと交流だけがこの部の目的ではないので、悪しからず。今、これを読んで心が揺れ動いたそこの君、大学生になってアルバイトばかりやるとか、講義が終わってすぐに家に帰ってしまうというのではつまらない。大学に入ったのだから、思いっきり大学生生活を送りたいと思っている君、何かやってみようと思っている君、この部に入って大学生活を楽しむチャンスがある。興味のある方は、どしどし部室に来て下さい。直接話を聞いた方が面白くわかっていただけると思います。お待ちしております。

この競技のテーマは、「音を感じよう」ということ。これは、通常では聞かれない大きなものの「音」をからだ全体でうけとめられるようになる自然と人間の関係を問うものであり、学生の部では86点の応募があった。

今回のコンペにおいて、金賞の該当作品はなく、本学建設

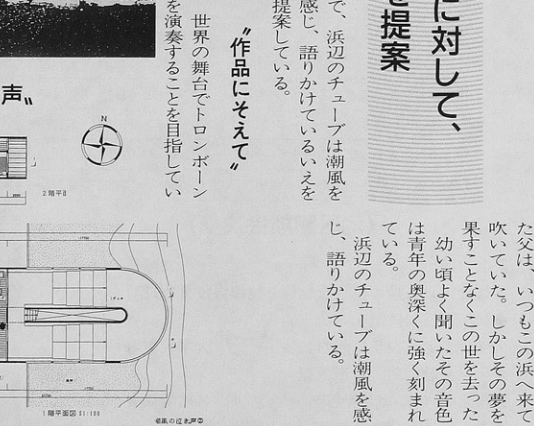
### 第9回設計競技に入賞 競技テーマ「音を感じるいえ」に対して、 潮風を感じ、語りかけるいえを提案

(新日本建築家協会東海支部・北陸支部主催、朝日新聞社後援)  
B9A0B4  
藤岡 久



工学科建築学専攻4年生の藤岡久君が最優秀である銀賞三席の内の一席に選ばれました。彼の作品は、「潮風の泣き声」を演奏することを目指している。

「作品にそえて」  
世界の舞台でトロンボーンを演奏することを目指している。



た父は、いつもこの浜へ来て吹いていた。しかしその夢を果すことなくこの世を去った幼い頃よ、聞いたその音は青年の奥深くに強く刻まれている。

浜辺のテーマは潮風を感じ、語りかけている。

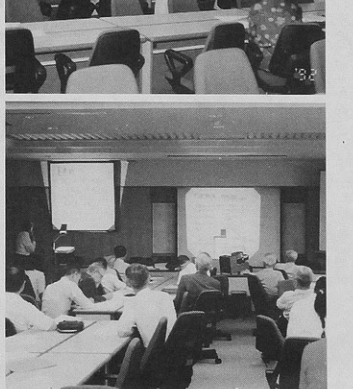
大学生が関与する交通事故が、加害・被害を問わず近年増加しています。今年度、本学においても死亡事故1名、重傷事故5名起っており、若い命が失われ、また学業に支障を来している現状の中、交通安全について考える必要があると思います。

さいわいにして本学は、交通至便の都心部にあります。皆さんも車が自動車・自動二輪車通学を自慢ということを知っていると思います。自転車を含めた、車で通学する学生のマナーを欠いた運転等による交通事故が多発しています。また不法駐車、迷惑駐車で地域住民からの苦情は後をたす。警察からも再三注意を受けているのが現状です。

本学では、交通安全委員会が交通安全対策の一環として、

本年度も交通安全キャンペーンの環として、6月と12月に、交通安全のビデオ、学生部・交通安全委員、学生を配布しました。また、昨年から、学生に交通事故の痛ましさを知らしめるために、「交通安全ビデオ」を指導教員に「交通安全に貸し出し、学生指導をお願いしています。

本学の学生が交通事故の加害被害者にならぬよう、今年度交通安全について考えて日常生活を送りたいものです。



平成4年度公開講座  
親切かつ適切な指導  
参加者から好評

本学における生涯学習の対応の一環として、平成4年度公開講座が一般市民の方を対象に開催されました。

硬式テニス教室を皮切りに、夏季は7月(日)28日(火)の佐々木講師、日本プロテニス協会中部支部長、柴田

優子講師と本学体育教室の教員の指導のもとに行なわれ29名が参加。秋季は10月6日(火)9日(金)に行なわれ29名が参加しました。夏季、秋季ともに参加者から親切かつ適切な指導を受けたとの声が多く寄せられました。

また、昨年引き続き、「くらしの中の科学」の大テーマに掲げ、横井時秀教授が担当した鉄の佛と鉄のせに「8月3日・4日には37名が参加しました。

加、柴田長吉教授の「マイクロ波と遠赤外線加熱(電子レンジの科学)」(10月6日)には24名が参加し、好評のうちに終了しました。

## クラブ 訪問

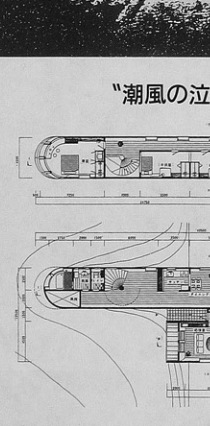
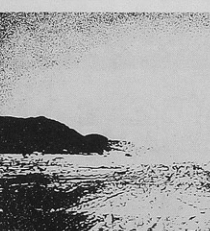
皆さんは、ワンダーフォーゲルという言葉を聞いたことがありませんか。多分聞いたことがないと思うし、どんな部だろう、どんな活動をしているんだろうと思われているのではないでしょうか。

我が部の活動としては、単に言うてしまえば、山を主体としたアウトドアスポーツです。自然に囲まれ仲間達や人々との触れ合いを大切にしたい、食事を仲間で作ったりテントの中の楽しい時間、合宿が終わってからのバカ騒ぎの楽しい打ち上げ。こんな楽しい大学生活をしてみたい。

その他にも夏休み、春休みを利用しての合宿は、北は北海道から南は沖縄まで、名前が島という言葉のとおり日本中を旅します。その旅行する場所も自分達で計画して、より楽しい思い出にするために。

この競技のテーマは、「音を感じよう」ということ。これは、通常では聞かれない大きなものの「音」をからだ全体でうけとめられるようになる自然と人間の関係を問うものであり、学生の部では86点の応募があった。

今回のコンペにおいて、金賞の該当作品はなく、本学建設



交通安全対策の一環として、

本年度も交通安全キャンペーンの環として、6月と12月に、交通安全のビデオ、学生部・交通安全委員、学生を配布しました。また、昨年から、学生に交通事故の痛ましさを知らしめるために、「交通安全ビデオ」を指導教員に「交通安全に貸し出し、学生指導をお願いしています。

本学の学生が交通事故の加害被害者にならぬよう、今年度交通安全について考えて日常生活を送りたいものです。



役職者

学長 藤原達雄

副学長 教授 前田利男

事務局長 大江哲也

教務部長 教授 清家政一郎

就職指導部長 教授 齋藤辰彦

図書館長 教授 山寺秀雄

情報処理センター所長 教授 松浦清剛

材料科学技術研究所長 教授 岩間三郎

学生部長 教授 柴田一男

教授 齋藤辰彦

教授 松浦清剛

教授 岩間三郎

教授 齋藤辰彦

教授 山寺秀雄

教授 松浦清剛

教授 岩間三郎

教授 齋藤辰彦

教授 山寺秀雄

教授 松浦清剛

教授 岩間三郎

教授 齋藤辰彦

教授 山寺秀雄

教授 松浦清剛

教授 岩間三郎

教授 齋藤辰彦

教授 山寺秀雄

教授 松浦清剛

教授 岩間三郎

人事

昇任 青山 正治(機械工学科) 交替(一)内前任者

平成四・十・十六付 材料科学技術研究所長 岩間三郎教授加藤哲男教授

教務部次長 関谷昌久教授瀬川重男教授

学生部次長 伊藤昇一助教水野義雄助教

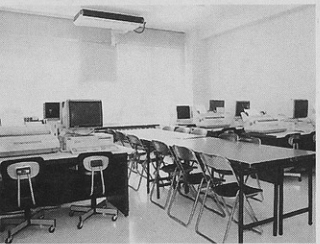
図書館次長 佐々木秀太助教佐藤愛知史講師

一般教養主任 加藤博巳教授松原敏浩教授

機械工学科主任 平松 力教授葛原定郎教授

電気工学科主任 加藤哲男教授奥田孝美教授

平成4年度 国庫など 補助金交付状況



平成4年度の国庫等補助金の交付状況をお知らせいたします。平成4年度の国庫等補助金では、重点領域研究(1)と重点領域研究(2)の内訳は、重点領域研究(1)が78,300千円、重点領域研究(2)が1,500千円、一般研究(C)が4,200千円、一般研究(C)萌芽的研究が2,100千円、国際学術研究(大学間協力研究)が1,800千円、私立大学等経常費補助金特別補助(情報処理関係設備)が19,810千円、愛知県経常費補助金が973千円、合計108,683千円です。

Table with 3 columns: 補助金名, 件数, 補助金交付額. Rows include 科学研究費補助金, 重点領域研究(1), 重点領域研究(2), 一般研究(C), 一般研究(C)萌芽的研究, 国際学術研究(大学間協力研究), 私立大学等経常費補助金特別補助(情報処理関係設備), 愛知県経常費補助金, and 合計.

掲示板

大学から学生へ

学生課

教務課

返還手続

返還手続

返還手続

返還手続

返還手続

返還手続

返還手続

返還手続

返還手続

返還手続

返還手続

教務課

転学科(転専攻)

科目等履修生・研究生

後期授業等の日程

後期試験期間

後期道・特道・再試験受付期間

後期道・特道・再試験受付期間

後期道・特道・再試験受付期間

後期道・特道・再試験受付期間

後期道・特道・再試験受付期間

後期道・特道・再試験受付期間

後期道・特道・再試験受付期間

後期道・特道・再試験受付期間

後期道・特道・再試験受付期間

後期道・特道・再試験受付期間

図書館

和雑誌バックナンバーの配架場所変更

M4F書庫の利用方法

文庫複写機の移設及び利用方法

情報処理センター

情報処理センター

情報処理センター

情報処理センター

情報処理センター

情報処理センター

情報処理センター

情報処理センター

情報処理センター

情報処理センター

情報処理センター

就職指導課

三年次

就職指導スケジュールは次のとおりです。

第一回就職説明会 平成4年12月中旬

第二回就職説明会 平成4年12月中旬

第三回就職説明会 平成4年12月中旬

第四回就職説明会 平成4年12月中旬

第五回就職説明会 平成4年12月中旬

第六回就職説明会 平成4年12月中旬

第七回就職説明会 平成4年12月中旬

第八回就職説明会 平成4年12月中旬

第九回就職説明会 平成4年12月中旬

第十回就職説明会 平成4年12月中旬

第十一回就職説明会 平成4年12月中旬

第十二回就職説明会 平成4年12月中旬

編集後記

大学の受験人口のピークは、昨年を境に過ぎ、入試内容は複雑化、多様化が毎年進んでいます。

また、大学の施設、増学部等が行なわれ、時代のニーズに応じ、受験生の関心を引く学部が多くなっています。

今号は「理工系大学に何を期待するか」と題して座談会を組んでみました。ご覧戴ければ幸いです。

編集後記

編集後記

編集後記

編集後記

編集後記

編集後記

編集後記

編集後記

編集後記

編集後記

編集後記